

点検日 令和元年12月31日
会社名 株式会社 公善社

代表者名 代表取締役 本多秀幸
安全統括管理者名 取締役 巻野博樹



一般貸切旅客自動車運送事業の概要	
項目	記 載 欄
所在地	神奈川県高座郡寒川町倉見 1 8 9 1 - 5
電話：メール	0467-73-5488 zipang@extra.ocn.ne.jp/shonanzipang@outlook.com
社員数	社員数： 9 名 （内訳 運転者： 9名 運行管理者： 3名、 整備管理者： 1名）
運転者	平均年齢： 55歳 平均勤続年数 5 年
保有車両	合計7台 （中型 1台 小型 6台）
事故件数（直近3年）	令和元年 0件 平成30年 1件 平成29年度 0件
貸切許可年月日	平成12年5月26日
専業、兼業別	ほかの事業兼業：第1事業部 一般貨物自動車運送事業)
業務様態	6：会葬者の送迎バス 1：企業送迎 2：旅行会社への依頼 3:地元自治会等の依頼 3：行楽シーズンの観光バス
その他	旅行代理店からの依頼割合： 30 % 運行日程（日帰り： 80% 宿泊 20%）

代表取締役： 本多秀幸

安全統括管理者： 菅野博樹



	自己チェックポイント	自己判定	具体的な内容等
1、 安全管理の 考えと 計画	1、 代表者（経営者）の安全に関する考え方	○	安全及び法令順守は最大の守るべき使命であるとし 報告・連絡・相談の徹底をし輸送の安全を最優先に考える
	2、 安全最優先の原則等を盛り込んだ「安全方針（社是、企業理念、考え等の場合有）」を策定しているか。また、社内に周知（会議、点呼、掲示等）しているか	○	1、安全方針 輸送の安全確保が自動車運送事業者の社会的使命と深く認識する 全社員に輸送の安全が最優先であるという意識の徹底 安全輸送マネジメントの維持 継続的な改善に努め、絶えず輸送の安全性を高める 2、周知方法 ミーティング・社内掲示のほか、HPにて公開 安全マネジメントの確実な実施PDCAサイクルの徹底
	3、 安全を確保するための具体的な目標を定めその目標を達成するための取り組みを作成しているか	○	1、具体的な目標 重大事故ゼロ 健康起因による事故防止 プロドライバーとしての責任を自覚し思いやり運転に徹する 2、社内規定により事故に対してのペナルティ課す
	4、 安全を確保するたびに必要な人員の採用配置及び設備（車両等）の更新・整備など行っているか	○	1、人員 社員の労働日数超過や休息確保の為、臨時社員の低域的な採用や使用 2、設備 デジタコの導入によりさらに安全に配慮した運転を目指す
	5、 安全統括管理者は、安全確保に向けて積極的に取り組んでいるか	○	1、取組内容 所長が安全統括管理者になり現場の声を聞きやすい環境に取り組んでいる

2、 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1、 代表者（経営者）は、社員（運転者等）と安全について話すの機会を設けているか	○	1、機会の概要 毎月の教育指導のほか、目安箱を設置して収取に努める
	2、 代表者（経営者）は、社員（運転者等）の安全に関する意見・要望を聞いて対応しているか	○	1、対応事例 早めのタイヤ交換 曇り止めの電熱線導入
	3、 安全に関して各署を交えた横断的な話し合いを行っているか	○	1、話し合いの仕方 小さな会社なので社員で様々な仕事を分業している 随時問題など発生した時や月1のミーティングで話し合いをしている 些細なことでも報告・連絡するよう努めている 集まりやすい環境になるので意見交換はしやすい環境になっている
	4、 利用者に対する安全啓発（車内アナウンス・掲示等）を行っているか	○	1、安全啓発の内容 シートベルトの着用啓発の車内アナウンスを乗車時にし、掲示をしている ステッカー等で目視できるように努めている
	5、 上記1-4について、見直し改善を行っているか	○	1、見直し改善の具体例 1、2、3に関しては比較的積極的に実践できている 4、乗車時以外にも安全に気を配れるようにする
3、 事 故 等 の 情 報 の 収 集 ・ 活 用	1、 事故発生時の対応手順や連絡方法等を決めているか	○	1、概要 手順連絡のみならず、運行管理者以外全社員がわかるように社内掲示 社員に安全や事故対応に対する社員カードを作成し携帯させる
	2、 事故、トラブルが発生した場合、再発防止策を講じているか	○	1、再発防止対策 実際の苦情や事故の報告書をもとみんなで反省をし再発防止に努める また、事例を回覧し周知させる
	3、 ヒヤリ・ハットの情報を集め事故防止に活用しているか	○	1、収集方法 目安箱を設置しているが、ほぼない。 ウェブ等にて事例を検索 2、活用事例 教育などで事例を検証して、社内にて回覧して周知させる デジタコにて採取し研修に利用する
	4、 利用者、他社の事故事例などの情報を集め必要に応じて対応等を行っているか	○	1、収集方法 利用者の声を第一に苦情などを開示して共有し、再発防止に努める

4、 安全 管理 体制 にお ける 取組	1、 関係法令等の遵守状況の定期的な確認を 行い、安全運行に必要な情報を収集し 社員へ周知を行っているか	○	1. 遵守状況の定期的な確認方法 デジタルタコグラフのGセンサーや安全報告書を利用し確認 2. 収集及び周知の方法 道路工事など交通事情が分かる場合は、ホワイトボードにて社内掲示 バス協会等の資料を元に通達
	2、 代表者（経営者）、安全統括管理者等に 対する運輸安全マネジメントに関する教育 外部研修機関等の受講を含む）を行っているか	×	1. 教育の事例 今年は参加できず、来年度は必ず参加したい
	3、 運転者等の技能要員に対して必要な教育・訓練 を定期的に行っているか	○	1. 教育訓練の概要 NASVAや国土交通省認定などの一般講習などへの参加
	4、 教育・訓練の実施状況を踏まえた見直しや 改善を行っているか	×	1. 見直し改善例 社内や紙面だけの教育で実地訓練までにはいたらず
5、 見直 しと 改善	1、 安全に関する目標の達成状況や安全管理の 状況を年1回居座定期的に振り返る機会 はあるか	○	1. 実施の時期 平成31年1月1日～令和元年12月31日まで 2. 目標達成率 ①達成②達成③達成 3. 振り返り状況 当年6月、当年12月
	2、 安全に関する目標の達成状況や安全管理の取り組み 状況を年1回以上確認し（総括）して、 次の目標や取組計画に反映しているか	○	1. 反映した事例 決まった人間がやるのではなく、様々な業務を分業や兼業 することでそれぞれの業務を認識し相乗効果を生み出せるようにする
	3、 安全に関する日々の取り組みに問題が あった場合、改善や愛作を講じているか	○	1. 改善・対策案 立場の違いを関係なく意見が遠慮なくだせるような環境を作る 経営者、安全統括管理者が積極的に取り組むよう努める